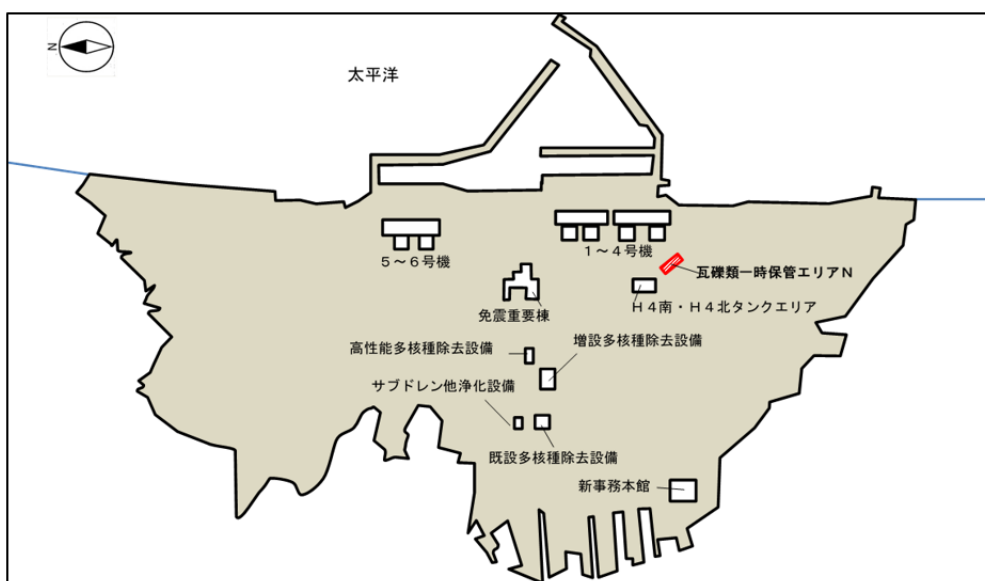


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和6年4月26日（金）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアN
- 3 確認項目  
瓦礫類一時保管エリアNの状況
- 4 確認結果の概要  
汚染土壌を収納したノッチタンク351基を保管している瓦礫類一時保管エリアN（以下「一時保管エリアN」という。）の現況を確認した。  
（図1）（前回確認：[令和4年7月19日](#)）
  - ・一時保管エリアNの周囲は、単管パイプのバリケードが敷かれており、関係者以外立入禁止措置がとられていた。（写真1）
  - ・ノッチタンクは1～2段積み保管されていた。また、2段積みになっているノッチタンクの上段は、天井部とバンドで固縛してあり、荷崩れを防止するための対策がとられていた。（写真2）
  - ・ノッチタンク表面に錆などが見られたが、汚染土壌の飛散や流出している様子は認められなかった。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



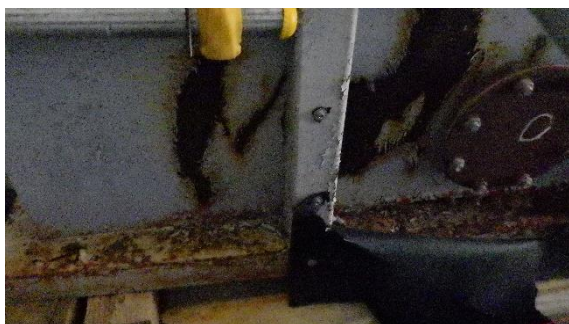
(写真1)  
一時保管エリアNの外観



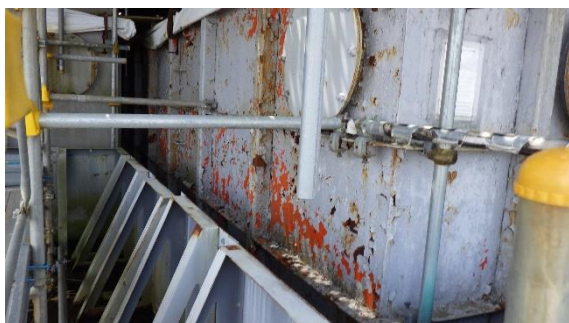
(写真2-1)  
ノッチタンクの保管状況



(写真2-2)  
一時保管エリアN屋根部の状況



(写真3-1)  
ノッチタンク表面の塗装状況①



(写真 3-2)

ノッチタンク表面の塗装状況②

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。